

令和 8 年度武蔵野市財政援助出資団体 経営目標

団体名		社会福祉法人武蔵野市民社会福祉協議会			
① 事業	指標名	「ささえーるむさしの」利用団体登録数			目標値 40団体
	過去の実績	令和5年度	令和6年度	令和7年度	(過去の実績についての説明)
	(単位:)	—	—	—	
	財政援助出資団体に関する基本方針(令和8年2月改正)の該当項目				2(1)市民福祉の向上に資する事業の実施
	設定理由等	・令和8年5月に新社屋「ささえーるむさしの」の供用を開始した。 ・地域福祉活動の拠点として「コミュニティルーム(会議室)」「ロッカー・メールボックス」「印刷室」の貸出を行う。 ・上記貸出の利用に際して、団体登録を行う。 ・地域社協やボランティア団体等を主な対象として利用・登録を促進する。 ※目標値はメールボックス数(48個)の8割以上に設定した。			
	取組内容	・団体利用のルールを設定する。 ・広報紙及び利用対象団体の会議・イベント等で周知を行う。			
② 財務	指標名	会費収入			目標値 2,600千円
	過去の実績	令和5年度	令和6年度	令和7年度	(過去の実績についての説明)
	(単位:千円)	2,758	2,824	2,608	
	財政援助出資団体に関する基本方針(令和8年2月改正)の該当項目				1(2)自律的経営の促進
	設定理由等	・大きな方針として、会費収入(個人・団体・特別賛助の合計額)の前年度収入額を維持する。 ・会費以外の収入の種類として、寄附金、歳末たすけあい募金、広告料、バザー売上、チャリティゴルフ大会収益、自動販売機売上がある。 ・団体の性質上、収益性のある事業は行っておらず、収入の増加を見込める取組みが限られている。 ・「会員＝社協活動や地域福祉活動の理解者」と捉え、引き続き地域福祉活動のPRにも取り組み、地域福祉活動の協力者の拡大も目指す。			
	取組内容	・「個人」区分の会員減少率と比較すると、「団体」及び「特別賛助」区分の会員減少率は低い。 ・「団体」及び「特別賛助」の会員は継続率が高いと見ることができるため、両区分の会員増加に取り組む。 ・団体会員に対して、会員特典協力店への協力依頼を行う。			
③ 内部管理	指標名	「第2次武蔵野市民社会福祉協議会発展強化計画」(2026～2031)の進捗管理			目標値 3回 (四半期ごとの進捗管理実施(4月を除く))
	過去の実績	令和5年度	令和6年度	令和7年度	(過去の実績についての説明)
	(単位:)	—	—	—	
	財政援助出資団体に関する基本方針(令和8年2月改正)の該当項目				2(2)経営評価と事務事業の見直し
	設定理由等	「第2次武蔵野市民社会福祉協議会発展強化計画」(2026～2031)の進捗管理を行うことで、経営の方向性の確認や事務事業の見直し等を適切に実施する。			
	取組内容	・7月、10月、1月に事業の進捗確認を実施する。 ・上記の進捗確認に合わせて、計画の「事業運営方針」及び「組織運営方針」に掲げた各5つずつの施策の進捗状況の管理を実施する。			